

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文	学年	3
				コース	S
	使用教科書		『現代文B』 数研出版	履修単位数	3
学習目標	物事を抽象化して捉える力、常識を相対化する力を鍛えることにより、自分の生き方や社会のあり方について深く考える力をつける。また、言葉の構造・文章の構造を理解しながら、論理的に思考する力・表現する力をつける。さらに、現代文問題について解法の技術を伸ばす。			評価の観点	定期試験を軸に、授業での文章記述、S統一テスト、授業態度などを元に総合的に判断する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	1. 『文化が違う』とは何を意味するのか？ 2. 「舞姫」 3. 「人はなぜ働かなくてならないのか」 4. 問題演習	1 ・具体的な部分と抽象的な部分に分けて本文を見るときにも、文章の主題を的確にとらえる。 ・筆者の言う文化相対主義とはどのようなことか、理解する。 ・真の異文化理解とはどのようなことか、考える。 2 ・教師による音読と古典文法の知識を頼りに、文語文で書かれた作品の内容を読み取る。 ・明治のエリート豊太郎にしてあった内面の、人間的貧弱さとともに、近代日本の社会や人間のあり方について考える。 3 ・仮説を立てて、一般的に考えられる答えを否定しつつ、真の「労働の意義」に迫る筆者の論理展開を把握する。 ・人間が「社会的存在」であることを十分に理解し、「働くこと」についての考えを深める。 4 ・現代文問題の解法を理解する。			
5					
《第1回定期試験》					
6	1. 「消費されるスポーツ」	1 ・アメリカの近代スポーツの特徴と大衆消費社会との関連性を理解する。 ・近代スポーツのメディアの発達に伴った変容について理解する。 ・スポーツの観客集団から可視化された社会を示唆する論理展開を学ぶ。 2 ・エコロジー・ムーブメントの表層性を近代の問題点とともに理解する。 ・筆者の提唱する「プリミティブなエコロジー」について理解を深める。 3 ・課題文の主題を的確に読解する。 ・設問を分析し、課題文の主題に対応した小論文を書く。 ・互いに文章を評価し合うことで、意欲的に文章を推敲する。			
7	2. 「エコロジーのミューズを求めて」 3. 小論文演習				
《第2回定期試験》					
9	1. センター試験問題の解法	1 ・設問分析・傍線部分分析を土台に、文脈を理解していく評論文解法について理解する。 2 ・登場人物の心情描写を追いながら、小説の主題を理解していく小説解法について理解する。 ・記述式問題の解法を理解するとともに、小論文の記述方法に慣れる。			
10	2. センター試験問題トレーニング				
11					
12					
1					
副教材	『現代文キーワード読解』 Z会 『入試漢字＋現代文重要語 TOP 2500』 いいずな書店				

## 2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年	3
				コース	S
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	3
学習目標	<p>古典としての古文・漢文を読む能力を高め、思考力を伸ばし、感性や情緒を育み、古典を通して人生を豊かにする態度を育む。</p> <p>幅広く古典を読むことによって、言語文化の変遷について理解を深め、将来にわたって主体的に古典を学ぶ基礎を培う。</p>			評価の観点	<p>定期試験を軸に、小テスト、提出物の成果、授業への意欲や関心、授業態度などを総合的に評価する。</p>
<b>授 業 計 画</b>					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	『枕草子』 「二月つごもりごろに」 「宮に初めて参りたるころ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の後宮生活の一端を読み取り、その華やかな雰囲気や後宮の日常について理解し、雰囲気を楽しむ。</li> <li>・出仕当時の作者の初々しい姿や、中宮定子への思いを読み取る。</li> </ul>			
5	『呂氏春秋』「知音」 『後漢書』「梁上君子」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の用法の復習を通して、動作主を確認しながら現代語訳する。</li> <li>・諸子百家の知識の集大成とも言える『呂氏春秋』について知る。</li> <li>・有名な逸話から生まれた成語を知り、漢文世界への興味を深める。</li> </ul>			
《第1回定期試験》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再読文字や否定・感嘆の句法について復習する。</li> </ul>			
6	『蜻蛉日記』「鷹」 『紫式部日記』「土御門邸の秋」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一夫多妻制に悩む作者の心情や日記の自照性を知り、見方考え方を深める。</li> <li>・平安貴族の生活・行事・文化を知り、古典をより深く読み味わう。</li> </ul>			
7	『搜神記』「売鬼」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後漢以後、儒教が国教でなくなり、仏教や民間信仰が盛んになった歴史を知り、当時書かれた親しみやすい作品を読み、内容をしっかりとらえる。</li> </ul>			
《第2回定期試験》		<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問・限定・禁止の句法について復習する。</li> </ul>			
7	『紫式部日記』「同僚女房評」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者が同僚の女性達をどのように思っていたかを理解し、鋭い感性と内省的な視点を持つ作者について理解する。</li> </ul>			
8	『本事詩』 「人面桃花」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唐代の伝奇小説を読み、ストーリーのおもしろさ・登場人物の心情を掴む。</li> <li>・疑問・反語・推測の句法について復習する。</li> </ul>			
9	『源氏物語』 「須磨」 「紫の上の死」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古来名文として親しまれる文章を読み味わい、都落ちした源氏の気持ちの推移を読み取る。</li> <li>・死期迫る紫の上が、源氏・明石中宮の見舞いを受け、自己の心情を歌に託す。二人も返歌に気持ちを込めるが、そのそれぞれの思いを読み取る。</li> </ul>			
10	『センター試験過去問題』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がセンター試験を受けるため、10月からはセンター試験の過去問題を中心に演習し、本番試験に対応できる学力を養う。</li> </ul>			
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文と漢文の時間配分について考えながら過去の問題を解く。</li> <li>・過去問の演習を通して、自分の知識が不足している分野や、曖昧な分野について、学習を強化する。</li> </ul>			
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの文章に当たり、知識を深め、読解力を高める。</li> </ul>			
2	受験大学の過去問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター試験後は、各自、各自大学受験となるため、個人で学習する。</li> </ul>			
3					
副教材	<p>『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いづな書店 『センター試験 国語過去問題 古典』尚文出版</p> <p>『完全マスター古典文法』第一学習社</p> <p>『新訂総合国語便覧』 第一学習者</p>				